

今年は暑い夏から急に気温が下がり、皆様体調をくずされていませんか。これから本格的な冬がやって来ます！12月の大掃除の前に少しでも掃除の負担を減らす為に、日頃から結露とカビの対策を考えてみましょう。

結露とカビの対策

どうして結露はできるの？



『結露』は
掃除した方がいいの？

結露が出来るメカニズムは、冬は暖房によって家の中が暖められることによって起こります。

窓を閉め切ることが多い為、人が生活して発生する湿気もこもってしまいます、その室内の暖かく湿気の多い空気が、窓から伝わってくる冷たい外気に冷やされて、窓や壁に「結露」が発生するのです！

結露はただの「水」です。

しかし!! 放置していると、ホコリや雑菌と混ざって『カビ』が発生することがあります。

カビが発生してしまうと、ダニや結露により傷んだ木材はシロアリを呼びます。

『結露』は様々な場所で発生しているのです。

「結露に気づいたらすぐ拭き取る！」がポイントです。



日常生活から出来る3つの結露対策！

その① 換気扇をまわす

できるだけ湿気を家の外へ追い出す為に、換気扇はこまめにまわしましょう。特に室内干しをしている部屋や入浴、調理中は湿気がこもるので換気扇をつけましょう。

その② 断熱シートを使う

外の冷たい空気が家の中に入ってこなくなり結露を防げます。一重窓で寒いという方は、二重窓や断熱窓にリフォームすると結露を大幅に防げます。

その③ 暖房はオイルヒーターやエアコンを使用する

暖房器具には開放型と非開放型の2種類があります。石油ストーブやガスストーブなどは暖房燃焼時に大量の水蒸気を発生させるため、部屋の湿度がぐっと上がってしまいます。結露を減らす為には、オイルヒーターやエアコンがおすすめ。

結露で出来てしまったカビ対策！



その① 窓のカビ

アルコールを吹きかけて拭き取ってみましょう。それでも取れない場合は市販薬剤。

その② ゴムパッキンに出来たカビ

アルコール→重曹→塩素系カビ取り剤、という具合に順番に薬剤を強くして試す。

その③ カーテンや壁紙にできたカビの掃除

カーテン：洗濯前に熱湯又はアルコールで拭き取ってから漂白剤を入れて洗濯。

壁：カビ取り剤は吸い込むと害があるので、酢またはアルコールで拭き取る。

★結露もカビも決して放置してはいけません!!★

カビは日常の汚れと同じように考えてはいけません。体内にカビの胞子が入り込むと、喘息、アトピーやアレルギーの悪化や発症、皮膚炎、免疫力の低下が起こるかもしれません。

免疫力が低い状態や持病を持っている人は、体内にカビの胞子が入り込むと、そのまま住み着いて繁殖し、命を脅かすこともあります。

また住宅の寿命も縮めます。結露を放っておいたことによってカビが発生し、内壁や天井に真っ黒なカビが繁殖していることもあります。

「内部結露」は室内の暖かい空気が壁(断熱材)の内部に侵入し、水蒸気を含むことが出来る限界の温度を下回った場所で発生します。この状態が長引くと、柱や土台を腐らせる原因にもなります。結露もカビも見つけたらこまめに対応しましょう。

アシストホームで工事をしていただきましたお客様の声

11年の長い間、おて開ける事ができなかった、たてわり窓が開けられとてもうれしかった。また、教えていたたいた、差支り本系用戸につけっ棒の3ヶ月も、大変感謝している。

ネット検索をして弊社に問い合わせをしたという葉山在住のお客様（S様）からの感想を紹介させていただきます。築11年のS様宅は階段の踊り場の窓を開けると外からの風が強くなり、すぐに窓が全開状態になってしまう事がお悩みでした。S様はその窓のメーカーに問い合わせをしたところ地元でその窓を扱う施工会社を探すように言われたそうです。そこでネットで検索をしたところ弊社にたどり着いたようです。窓の開きを固定維持できるものを取り付けさせていただきました。

**これからもお客様の悩みに寄り添い1つ1つ解決する助けになれるよう
社員一同取り組んでまいります。**

お問合せ等 お気軽にお電話ください アシストホーム 046-877-1127